

たなか

笑楽校2024

令和6年12月13日 NO52
柏市立田中小学校 並木孝樹

「手紙の書き方」をテキストで学習しています

今年度も全学年に「手紙の書き方」テキストが届いています。これは日本郵便の郵便教育推進委員会が作成したもので手紙の書き方体験の事業の一環として全国の小中高生を対象としています。テキストは無料で手紙やはがきの書き方についてお手本をもとにわかりやすく解説しています。テキストには「楽しい年賀状をつくろう」という冊子もついていて年賀状の書き方についても学習できます。年賀状も1枚特典としてついてきました。今回の授業の目的は「手紙・はがきの文化を伝えること」とともに学習指導要領（解説 国語編）にある次の内容に基づいて指導しています。

日記や手紙を書くなど、思ったことや伝えたいことを書く活動

手紙とは、特定の相手に対し、用件や気持ちなどを文章で伝えるものである。相手を明確に意識できるため、児童自らが推敲する必要性を実感して書くことのできる言語活動でもある。児童の発達や学習の状況に応じて、短い文や伝言などで表すことも考えられる。（中略）

お礼の手紙を書く際には、表書きの住所や宛て名を正しく書くことや、後付けにおける署名や宛て名の位置関係といった基本的な形式などを押さえることが必要である。

自分が4～6年生の全クラスに1時間だけ授業しています。子どもたちは一生懸命取り組んでいました。



平成21年4月全国の小学6年生に対して実施された文部科学省「全国学力・学習状況調査」において、はがきの表書きに必要な事柄を書く順序を問う問題の正答率が、67.1%という結果が発表されました。この数値は手紙を書くことを経験する機会が極めて少ないことを表しています。相手と自分の住所をどこに書くのかを初めて知ったという子も中にはいたようです。